

特記仕様書

(森林環境保全整備事業 (南田代山国有林))

1. 虫害時期においては、防虫対策として薬剤散布を行い製品の品質管理に努めること。
2. 特別な事情がある場合には、国有林材の生産時期及び数量を変更することがある。
3. 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬するときの支障とならないようにすること。
4. 本事業地は、国有林材（製品）の安定供給システム販売における直送システムの対象となる可能性がある物件である。
安定供給システム販売の公募において直送システムに係る企画提案があり、協定締結に至った場合には、製品生産事業請負標準仕様書第32条第2項に基づき、封印の実施を委任する。
また、山元土場での巻立経費および検知数量を直送システムに対応した内容に変更し、その実施に当たっては変更契約を締結するものとする。
※直送システムとは、山元土場における検知を行わず、安定供給システム協定者が山元土場から自ら運搬し、原木選別機等により計測された本数および材積を採用する方法をいう。

令和8年度 林分条件調査表

森林管理署	三陸北部森林管理署	
物件番号	2	
物件名	森林環境保全整備事業(南田代山国有林)	







林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量												最寄り市町村からの距離 km	備考										
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立			森林作業道作設		林地保全		土場作設等 h			砂利数量 m³	薬剤散布 (スハイン) ℓ	鉄板規格*枚数							
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	グラブ付トラック 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種編柵 m							緑化 m²						
356は1	水涵保	カラマツ	66	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	14.20	25	18	3,483	802	0.23	360	131	491	全木	802	プロセッサ	491	726	491	5,800	491	緩											川井総合事務所	33.9			
356は2	水涵保	カラマツ	64	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	26.48	25	18	5,277	1,339	0.25	513	274	787	全木	1,339	プロセッサ	787	1,359	787	5,800	787	緩													34.6		
356に1	水涵保	カラマツ	56	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	7.70	25	20	1,350	400	0.30	218	41	259	全木	400	プロセッサ	259	1,526	259	5,800	259	緩													34.7		
356に2	水涵保	カラマツ	58	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	8.24	25	20	1,446	428	0.30	233	43	276	全木	428	プロセッサ	276	2,098	276	5,800	276	緩														35.3	
357ろ1	水涵保	カラマツ	63	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	9.07	25	18	1,810	459	0.25	176	94	270	全木	459	プロセッサ	270	580	270	5,800	270	中													33.8		
357ろ2	水涵保	カラマツ	61	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	8.39	25	18	2,059	474	0.23	213	78	291	全木	474	プロセッサ	291	883	291	5,800	291	緩														34.1	
357ろ3	水涵保	カラマツ	61	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	7.59	25	18	1,855	429	0.23	192	70	262	全木	429	プロセッサ	262	1,077	262	5,800	262	緩														34.3	
357ろ4	水涵保	カラマツ	60	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.87	25	20	1,030	305	0.30	167	32	199	全木	305	プロセッサ	199	1,636	199	5,800	199	緩														34.8	
357ろ5	水涵保	カラマツ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	9.52	25	20	1,669	494	0.30	270	50	320	全木	494	プロセッサ	320	2,175	320	5,800	320	中														35.4	
357ろ6	水涵保	カラマツ	61	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.74	25	18	425	98	0.23	45	16	61	全木	98	プロセッサ	61	1,284	61	5,800	61	緩														34.5	
360し4	水涵保	カラマツ	54	育成受光伐	列状間伐(1伐3残)	8.32	25	16	2,297	422	0.18	77	135	212	全木	422	プロセッサ	212	1,811	212	7,900	212	緩														37.1	
362し3	水涵保	カラマツ	54	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.83	25	20	498	147	0.30	80	15	95	全木	147	プロセッサ	95	849	95	7,900	95	中														36.1	
362し5	水涵保	カラマツ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.73	25	20	1,002	297	0.30	162	31	193	全木	297	プロセッサ	193	1,053	193	7,900	193	中														36.4	
362し6	水涵保	カラマツ	44	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.08	25	16	980	137	0.14	61	23	84	全木	137	プロセッサ	84	1,525	84	7,900	84	中														36.8	
合計						118.76			25,181	6,231	0.25	2,767	1,033	3,800		6,231		3,800		3,800		3,800														除雪 ホイールローダ 0.9~1.0m³ 20h バックホウ 0.45m³ 10h		

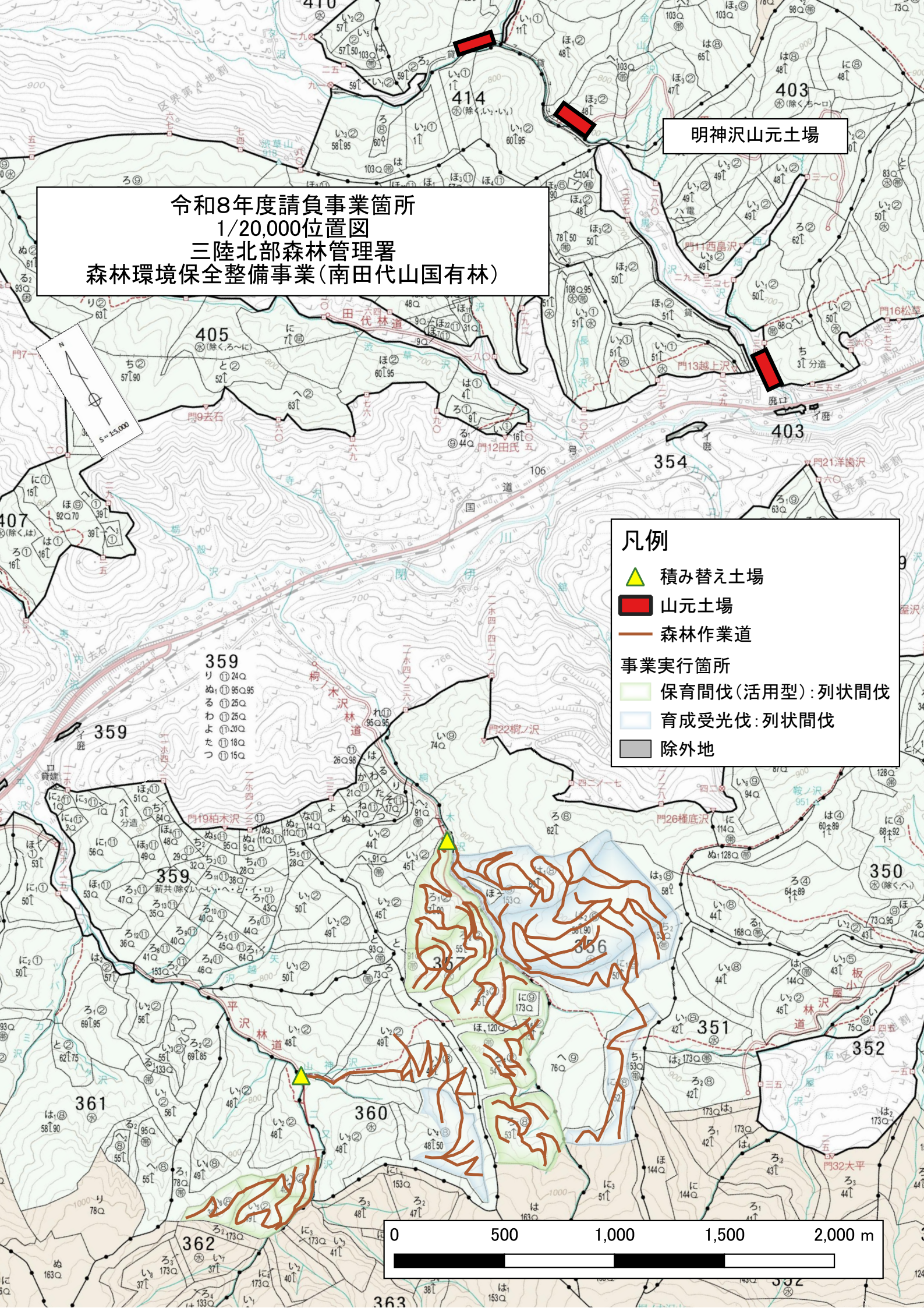
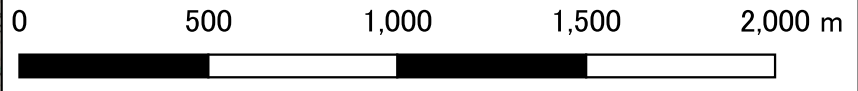
- 1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
- 2 面積は伐採面積とする。
- 3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ~20°、中:20° ~30°、急:30° 以上
- 4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
- 5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
- 6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

令和8年度請負事業箇所
 1/20,000位置図
 三陸北部森林管理署
 森林環境保全整備事業(南田代山国有林)

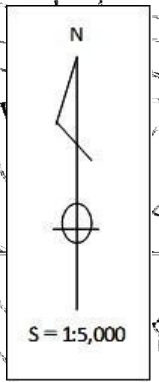
明神沢山元土場

凡例

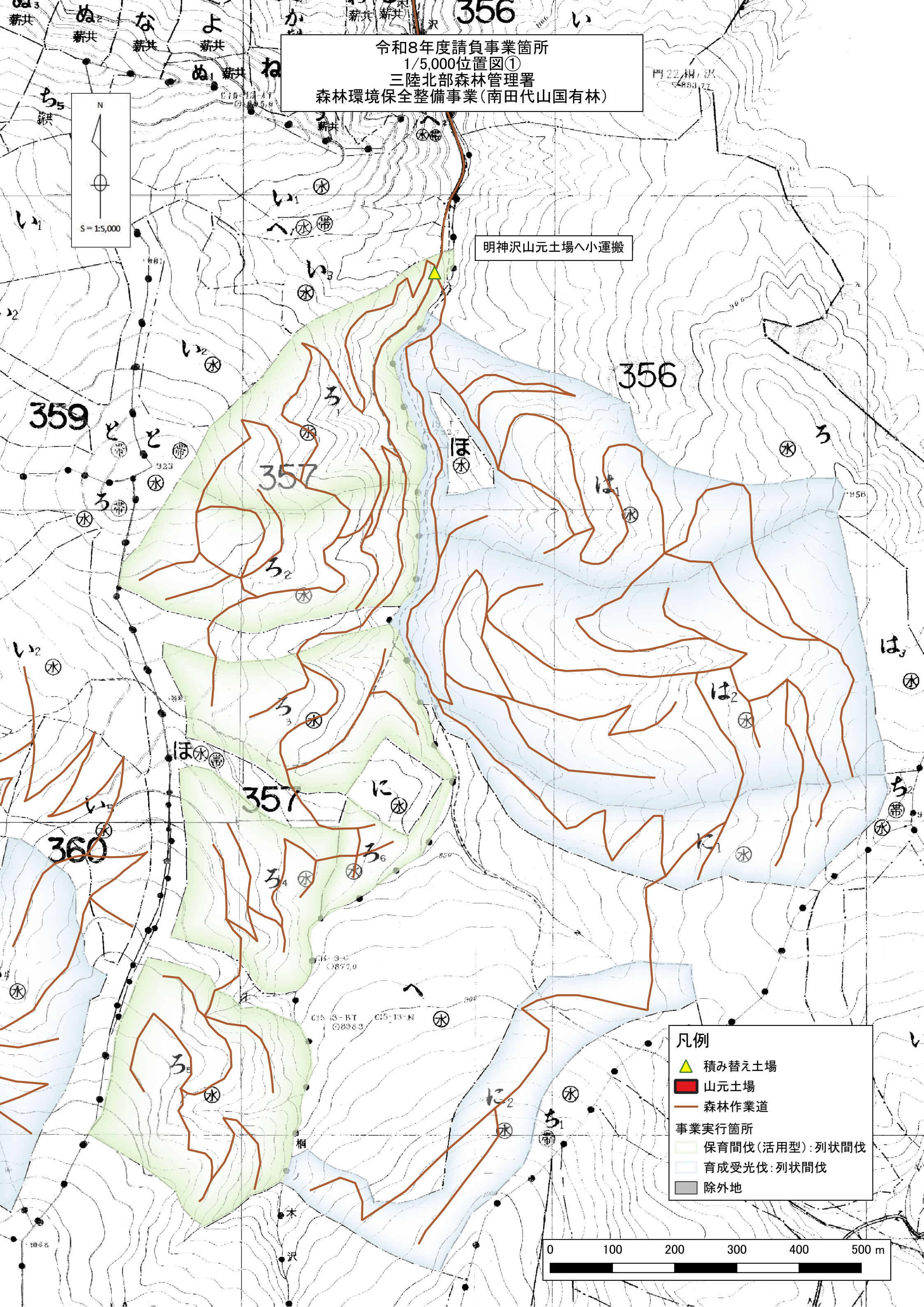
-  積み替え土場
-  山元土場
-  森林作業道
- 事業実行箇所
-  保育間伐(活用型):列状間伐
-  育成受光伐:列状間伐
-  除外地



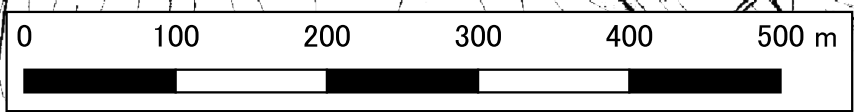
令和8年度請負事業箇所
 1/5,000位置図①
 三陸北部森林管理署
 森林環境保全整備事業(南田代山国有林)

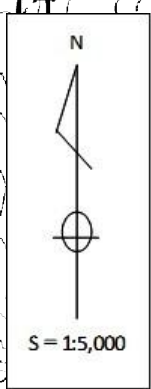


明神沢山元土場へ小運搬



- 凡例
- ▲ 積み替え土場
 - 山元土場
 - 森林作業道
 - 事業実行箇所
 - 保育間伐(活用型):列状間伐
 - 育成受光伐:列状間伐
 - 除外地





令和8年度請負事業箇所
1/5,000位置図②
三陸北部森林管理署
森林環境保全整備事業(南田代山国有林)

明神沢山元土場へ小運搬

- 凡例
- ▲ 積み替え土場
 - 山元土場
 - 森林作業道
 - 事業実行箇所
 - 保育間伐(活用型): 列状間伐
 - 育成受光伐: 列状間伐
 - 除外地

